

## 第4章 文化資源に関する既往の把握調査

### 第1節 文化資源の把握調査

#### (1) 把握調査の整理

これまで本市では、富士吉田市史編さんに係る文化財の把握調査や個別の文化財、埋蔵文化財の詳細調査等を実施してきました。これらの概要は次の通りです。

#### 1) 既存類型の調査報告や普及啓発

##### ■富士吉田市文化財調査報告書

本市は、地域にとって重要な文化財と、開発等によって記録保存せざるを得ない埋蔵文化財に対して専門的な調査研究を実施し、その成果を公開してきました。この他、山梨県は本市において文化財調査を実施しました。

表4・1 『富士吉田市文化財調査報告書』一覧

No.	刊行物名	出版年
第1集	天然記念物（植物）調査報告書	1990(平成2)年
第2集	吉田城山調査報告書	1995(平成7)年
第3集	富士山吉田口登山道関連遺跡：歴史の道整備活用推進事業に伴う調査報告書1	2001(平成13)年
第4集	富士山吉田口登山道関連遺跡：歴史の道整備活用推進事業に伴う調査報告書2	2003(平成15)年
第5集	国指定記録選択無形民俗文化財調査報告書「吉田の火祭」	2005(平成17)年
第6集	富士山吉田口登山道関連遺跡：歴史の道整備活用推進事業に伴う整備報告書	2005(平成17)年
第7集	富士山吉田口御師の住まいと暮らし：外川家住宅学術調査報告書	2008(平成20)年
第8集	上暮地新屋敷遺跡：農業集落道建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	2010(平成22)年
第9集	上中丸遺跡(第2次)中丸地区土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	2012(平成24)年
第10集	上中丸遺跡(第1次)：中丸地区土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	2016(平成28)年
第11集	富士吉田の富士山信仰用具調査報告書	2021(令和3)年
第12集	蝙蝠穴発掘調査報告書	2022(令和4)年
—	山梨県指定有形文化財旧宮下家住宅移築修理工事報告書	1991(平成3)年
—	山梨県指定有形文化財旧外川家住宅保存修理工事報告書	2010(平成22)年

表4・2 県事業による主要な文化財調査一覧

刊行物名	出版年
山梨県の主要動植物	1972(昭和47)年
山梨県の民家	1982(昭和57)年
山梨県の近世社寺建築	1983(昭和58)年
鎌倉街道(御坂路) 山梨県歴史の道調査報告書 第6集	1986(昭和61)年
山梨県の中世城館跡：分布調査報告書	1987(昭和62)年
鎌倉道 山梨県歴史の道調査報告書 第18集	1988(昭和63)年
山梨の文化財 国指定編	1989(平成元年)
富士川水運 山梨県歴史の道調査報告書 第19集	1991(平成3)年
山梨県歴史の道ガイドブック	1998(平成10)年
山梨県堤防・河岸遺跡分布調査報告書	1998(平成10)年
山梨県の祭り・行事 山梨県祭り・行事調査報告書	1999(平成11)年

#### 第4章 文化資源に関する既往の把握調査

刊行物名	出版年
山梨県棟札調査報告書 郡内Ⅱ・河内Ⅱ・補遺	2005(平成17)年
山梨県の文化財 文化財集中地区特別総合調査報告 第23集	2006(平成18)年
山梨県中世寺院分布調査報告書	2009(平成21)年
富士山：山梨県富士山総合学術調査研究報告	2012(平成24)年
山梨県山岳信仰遺跡詳細分布調査報告書	2012(平成24)年
山梨県の民俗芸能 山梨県民俗芸能緊急調査報告書	2012(平成24)年
山梨県の近代和風建築	2015(平成27)年
富士山：山梨県富士山総合学術調査研究報告(2)	2016(平成28)年

#### ■富士吉田市の文化財

富士吉田市教育委員会は、市内に所在する各種文化財の調査を実施し、文化財の状況を把握してきました。『富士吉田市の文化財』は、調査成果を市民に広く公開するため刊行しました。

#### 2) 市史編さん事業に伴う成果

本市の歴史を明らかにし、歴史資料を市民共有の財産として記録保存していくため、1979(昭和54)年に本格的な市史編さん事業を開始しました。市史刊行に先立ち、基礎作業として発掘調査や文書調査、民俗調査が行われました。その成果を基に、「市史資料(古文書)所在目録」、「民俗調査報告書」、「資料叢書」を刊行しました。

表4・3 『富士吉田市の文化財』一覧

No.	刊行物名	出版年
その1	富士吉田の文化財	1969(昭和44)年
その2	史跡 新倉ほりぬき	1970(昭和45)年
その3	古文書	1973(昭和48)年
その4	富士山の信仰	1974(昭和49)年
その5	路傍の石造物	1975(昭和50)年
その6	戦国時代の古文書・記録	1976(昭和51)年
その7	民話	1977(昭和52)年
その8	続 民話	1977(昭和52)年
その9	富士山の信仰 第2集	1978(昭和53)年
その10	指定文化財	1979(昭和54)年
その11	戦国蒼龍隊の壮挙 (上)	1979(昭和54)年
その12	戦国蒼龍隊の壮挙 (上の二)	1980(昭和55)年
その13	戦国蒼龍隊の壮挙 (上の三)	1980(昭和55)年
その14	民話と伝説	1981(昭和56)年
その15	渡辺雪峰の画集	1981(昭和56)年
その16	富士山御師	1981(昭和56)年
その17	報国蒼龍隊の壮挙 (下)	1982(昭和57)年
その18	花水庵 春登上人伝	1983(昭和58)年
その19	古屋敷遺跡	1983(昭和58)年
その20	流鏑馬	1984(昭和59)年
その21	富士山御縁年建札と女人禁制	1984(昭和59)年
その22	富士講	1985(昭和60)年
その23	富士山麓の入会	1985(昭和60)年
その24	指定文化財	1986(昭和61)年
その25	吉田の風土記	1987(昭和62)年
その26	思い出ウォッチングー目で見ると読む富士吉田のあゆみー	1988(昭和63)年
その27	御山登り道～富士禅定ガイド～	1989(平成元)年

## ■富士吉田市史

『行政編』2巻、『史料編』7巻、『通史編』3巻、『民俗編』2巻の合計14巻が刊行され、原始から現代まで幅広く本市の歴史を捉えています。

## ■富士吉田市史研究

市史編さん事業に伴い、機関紙として『富士吉田市史研究』を発行しました。編さん事業の内容をより詳細に公開すること趣旨とし、市史編さんにまつわる調査研究の成果の一部を、論文や資料紹介などの形で発表しています。2000(平成12)年3月まで、合計15冊を刊行しました。

表4・4 『富士吉田市』一覧

No.	刊行物名	出版年
1	行政編 市政三十年のあゆみ 上巻	1983(昭和58)年
2	行政編 市政三十年のあゆみ 下巻	1983(昭和58)年
3	通史編 第1巻 原始・古代・中世	1999(平成11)年
4	通史編 第2巻 近世	2000(平成12)年
5	通史編 第3巻 近・現代	1988(昭和63)年
6	史料編 第1巻 自然・考古	1997(平成9)年
7	史料編 第2巻 古代・中世	1991(平成3)年
8	史料編 第3巻 近世 1	1993(平成5)年
9	史料編 第4巻 近世 2	1988(昭和63)年
10	史料編 第5巻 近世 3	1988(昭和63)年
11	史料編 第6巻 近・現代 1	1989(平成元)年
12	史料編 第7巻 近・現代 2	1990(平成2)年
13	民俗編 第1巻	1996(平成8)年
14	民俗編 第2巻	1996(平成8)年

表4・5 『富士吉田市史研究』一覧

No.	概要	出版年
創刊号	【論文】江川英龍の甲州郡内領支配 ほか2本、【史料紹介】吉積山西念寺文書	1986(昭和61)年
第2号	【論文】近世吉田地方における絹織業について 他3本、 【調査報告】富士吉田市内遺跡分布調査報告、【史料紹介】新倉「古水帖」考	1986(昭和61)年
第3号	【論文】表裏縄文系土器群の再検討 ほか4本、 【調査報告】明治前期の明見村と農工商民、 【史料紹介】上吉田藤井家(駿河屋)文書	1988(昭和63)年
第4号	【論文】小山田氏と武田氏ほか4本、 【史料紹介】明治初年の後家家族・分家の存在形態一他射1本	1989(平成元)年
第5号	【論文】近世後期における神職出入一件ほか3本、 【史料紹介】新倉掘抜をめぐる史料	1990(平成2)年
第6号	【論文】富士吉田市域における水車動力と電力の普及ほか2本、 【史料紹介】明治初年における新倉村の家族の存在形態	1991(平成3)年
第7号	【論文】近世浄土真宗寺院の成立と展開 他9本	1992(平成4)年
第8号	【論文】『妙法寺記』に見る災害 他3本、 【研究ノート】郡内地域における年貢徴収状況、 【調査報告】富士吉田市小明見地区の民謡資料整理について	1993(平成5)年
第9号	【論文】甲斐国都留郡下吉田村における村組についてほか3本、 【史料紹介】富士見担開墾事業の経緯に関する史料	1994(平成6)年
第10号	【論文】役大工仲間の構造変化と細工場制度ほか2本、 【史料紹介】山中湖村北畠遺跡出土の「松鶴鏡・ガラス玉」	1995(平成7)年
第11号	【論文】月江寺過去帳とその成立の歴史的背景 他4本	1996(平成8)年
第12号	【論文】近世上吉田村の村落構造 他3本、 【史料紹介】山梨県内に残る「連尺の巻物」 【聞き取り調査】半原燃糸業と吉田地方	1997(平成9)年
第13号	【論文】藤村県政と区戸長の位置 他2本、 【史料紹介】荏見基助『山梨県機織業調査報告書』	1998(平成10)年
第14号	【論文】同族団の再生と親分子分慣行の変容 他3本、 【史料紹介】富士山馬返鳥居について	1999(平成11)年
第15号	【研究報告】富士山馬返鳥居について、【史料紹介】郡内三十三所観音霊場	2000(平成12)年

## ■富士吉田市史資料叢書

史編さん事業の目的の1つは、散逸しつつある貴重な資料を記録し保存することです。市史編さん委員が調査・収集した資料は膨大であり、その全てを市史の史料編に収録できませんでした。そのため、歴史的価値の高いものは、別途『富士吉田市史資料叢書』として公開しました。

『資料叢書』では古文書や民俗調査、発掘調査などを扱いました。叢書は合計14冊刊行しました。

表4・6 『富士吉田市史資料叢書』一覧

No.	刊行物名	出版年
1	旧三ヶ村事務報告書 瑞穂村編	1987(昭和62)年
2	旧三ヶ村事務報告書 明見村編	1987(昭和62)年
3	旧三ヶ村事務報告書 福地村編	1988(昭和63)年
4	村明細帳	1988(昭和63)年
5	社会実態調査	1989(平成元)年
6	検地帳	1989(平成元)年
7	旧村地誌	1990(平成2)年
8	古屋敷遺跡発掘調査報告書	1990(平成2)年
9	市史新聞記事索引	1991(平成3)年
10	妙法寺記	1991(平成3)年
11	上吉田の石造物	1991(平成3)年
12	近代統計編	1993(平成5)年
13	マネキ	1996(平成8)年
14	池之元遺跡発掘調査研究報告書	1997(平成9)年

## ■富士吉田市民俗調査報告書

昭和30年代以降、高度経済成長とともに都市化が進行し、庶民の生活伝承は忘れ去られ、風化しつつありました。そこで、市内の歴史や生活の知恵、古文書など、記録として残りにくい民俗文化を記録し後世へ伝えるため、調査を実施しました。市史編さんのためだけでなく、市民が市内の生活文化の認識を深める一助となるよう、調査成果は『民俗調査報告書』として9地区10冊にまとめました。

表4・7 『富士吉田市民俗調査報告書』一覧

No.	刊行物名	出版年
1	向原の民俗(上)	1983(昭和58)年
2	向原の民俗(下)	1984(昭和59)年
3	古原の民俗	1984(昭和59)年
4	新屋の民俗	1985(昭和60)年
5	上暮地の民俗	1986(昭和61)年
6	新倉の民俗	1987(昭和62)年
7	松山の民俗	1988(昭和63)年
8	大明見の民俗	1988(昭和63)年
9	上吉田の民俗	1989(平成元)年
10	下吉田の民俗	1990(平成2)年

## ■富士吉田市資料所在目録

市史編さんに伴う調査により収集された資料は、古文書だけでも近世を中心に4万点に及びました。それらの所在を把握するため、『資料所在目録』として計22冊を刊行しました。

### 3) 博物館における企画展等の活動

富士吉田市立の博物館は、市史編さん事業が本格化する 1979(昭和 54)年 3 月に「富士吉田市郷土館」として開館しました。その後 1991・1992(平成 3・4)年度に増改築と展示改装を行い、1993(平成 5)年 4 月に富士吉田市歴史民俗博物館として再開館しています。2013(平成 25)年 6 月に富士山が「富士山―信仰の対象と芸術の源泉―」として世界文化遺産に登録されると、2015(平成 27)年 4 月に「ふじさんミュージアム―富士吉田市歴史民俗博物館―」としてリニューアルオープンしました。

ふじさんミュージアムでは、本市の歴史と文化に関する企画展を多く開催しています。2023(令和 5)年には富士山世界遺産登録 10 周年記念企画展である「富士山登山案内図の世界」、「富士山のおふだの世界」、「昭和の富士山―変わる登山、変わらぬ御山―」を開催しました。

また、企画展図録や解説書、博物館のニュースレター「MARUBI」を刊行しています。



図4・1 ふじさんミュージアム外観

表4・8-1 博物館における企画展等の資料一覧(1)

刊行物名		概要	出版年
企画展図録	ふるさとの形 富士吉田の民具	市内で使用されていたさまざまな民具について解説しています。	1984(昭和59)年
企画展図録	描かれた富士の信仰世界	信仰の山としての富士山が古来どのように認識されていたかを伝統的な絵画を通して紹介しています。	1995(平成7)年
企画展図録	富士山の絵札 ～牛玉と御影を中心に～	絵札とは木版で紙に摺られた神仏や信仰対象の像を描いた札のことで、一般に牛玉や御影などとも呼ばれ、江戸時代には御師等らによって大量に頒布されました。絵札は富士山の信仰を凝縮したものであり、そこには多くのことが語られています。	1996(平成8)年
企画展図録	富士山明細図	『富士山明細図』は、江戸時代末期に描かれた肉筆の絵画帳です。当時の山内の施設や登拝者の様子が詳細に描かれており、実態をとらえにくい富士信仰史の解明のためになくてはならない大変重要な史料といえます。	1997(平成9)年
企画展図録	絵葉書に見る富士登山	江戸時代までの信仰登山一色から脱却した明治以降の登山の様子について、その時代を写し込んだ絵葉書を用い、同時代の登山案内記等によって解説しています。江戸時代の信仰登山と現在の観光登山との狭間に位置する明治末期～昭和初期に至る時期の様子が詳しくわかります。	1999(平成11)年



#### 第4章 文化資源に関する既往の把握調査

表4・8-2 博物館における企画展等の資料一覧(2)

刊行物名		概要	出版年
企画展図録	富士山登山案内図	富士山信仰の初源は、遥拝のかたちからはじまり、その後、御師や修験の活躍によって登拝の山へと変化しました。近世にいたっては広く庶民に受入れられ富士講の隆盛をみました。この図録では、北口(吉田口)だけでなく、表、南、東口の資料を集成し、信仰の御山としての富士山がどのように認識されていたかをまとめています。	2000(平成12)年
企画展図録	太々神楽と獅子神楽	常設展示の「日々の暮らしと祭り」をより詳しく紹介するため夏季企画展『太々神楽と獅子神楽』を開催しました。この図録では、市内に伝承される民俗芸能のうち、4ヶ所の太々神楽と2ヶ所の獅子神楽、また、市内から周辺地域に伝播した太々神楽(巫女舞)と湯立をともなう獅子神楽についても収録しています。	2000(平成12)年
博物館叢書	富士山道しるべを歩く	江戸時代末期に版行された『富士山道しるべ』をもとにかつてのルートを現在の地図にてらしあわせて、江戸・東京からの登拝路の実情を紹介しています。	2001(平成13)年
企画展図録	富士八海をめぐる	江戸時代末期に版行された『富士山道しるべ』の後半、「富士八海(内八海)」の記述をもとに富士山麓を紹介しています。	2003(平成15)年
企画展図録	富嶽寫眞 -写された幕末・明治の富士山-	富士山を一周する地域から写された古写真(彩色写真)を集成しています。当時の撮影場所や現在との景観の移り変わり等も紹介しています。	2003(平成15)年
企画展図録	富士山周遊図	「富士八海をめぐる」で紹介した地図を、現行の5万分の1にまとめています。裏面には昭和初期刊行の山岳図「富士山近傍図」を元にした地図を掲載し、表面の現行地図と比較できます。	2004(平成16)年
企画展図録	国絵図・郡絵図・村絵図	江戸時代以降の絵図に描かれた当時の地域や富士山を含めた景観を再確認し富士山に対する認識、山麓地域の変化や発展の歴史について解説しています。	2004(平成16)年
企画展図録	甲斐国志 富士山北口を往く	江戸時代に編さんされた地誌「甲斐国志」に記述された地名・史跡・寺社を現在の状況と比較しながら取り上げています。また、各文化財の所在地を地図に示しているためガイドブックとしても利用できます。	2005(平成17)年
企画展図録	おめでたいカタチ - 富士の意匠 -	さまざまなものに意匠化された富士山を取り上げ解説しています。	2005(平成17)年
企画展図録	富士を登る	吉田口登山道の起点となる浅間神社から山頂までの詳細なルート図と道沿いに点在する富士信仰にかかわる文化財を歴史解説とともに紹介しています。ルート図には距離や平均時間、道の状況も解説しています。	2006(平成18)年
企画展図録	身祿の聖物	食行身祿の遺品目録に掲載されている資料を中心に紹介しています。	2008(平成20)年
企画展図録	富士の神仏 -吉田口登山道の彫像-	神仏分離以前、富士山内に納められていた仏像を中心に解説しています。	2008(平成20)年
展示解説	御師 旧外川家住宅	世界遺産の構成資産にもなっている重要文化財「旧外川家住宅」の歴史について、解説しています。	2008(平成20)年
企画展図録	月江寺展 - 富士北麓禅の美術 -	月江寺は室町時代に開かれ、江戸時代には富士北麓で最大規模の寺院とも称された古刹で、富士信仰とも深く関わりのある寺院です。禅の美術の美しさと特色、寺と富士信仰の関わりを解説しています。	2009(平成21)年

表4・8-3 博物館における企画展等の資料一覧(3)

刊行物名		概要	出版年
企画展図録	富士山道しるべを歩く 改	江戸時代末期に版行された『富士山道しるべ』をもとにかつてのルートを現在の地図にてらしあわせて、江戸・東京からの登拝路の歴史的な背景を解説するとともに、現状を紹介しています。	2010(平成22)年
解説書	富士の女神のヒミツ	現在、富士山の祭神として浅間神社に祀られている木花開耶姫を中心に子ども向けに解説しています。	2010(平成22)年
解説書	吉田の火祭のヒミツ	重要無形民俗文化財「吉田の火祭」の内容を子ども向けに解説しています。	2012(平成24)年
企画展図録	富嶽人物百景 -富士山にゆかりある人々-	「広報ふじよしだ」に連載された「吉田縁人」の内容を元に富士山と富士吉田市にゆかりある100人を特に富士山との関わりに注目して紹介しています。	2013(平成25)年
解説書	世界遺産富士山のヒミツ	富士山が世界遺産に登録されたことを記念して、その構成資産について、子ども向けにわかりやすく解説しています。	2013(平成25)年
解説書	富士講のヒミツ	富士山を信仰し登山する団体「富士講」について、子ども向けにわかりやすく解説しています。	2015(平成27)年
常設展図録	ふじさんミュージアム展示解説	ふじさんミュージアムの展示(常設展)を詳細に解説しています。	2016(平成28)年
解説書	北口本宮富士浅間神社のすべて	重要文化財指定記念企画展「北口本宮富士浅間神社の至宝」の開催に合わせて刊行したもので、浅間神社について平易にわかりやすく解説しています。	2018(平成30)年
企画展図録	富士山登山口上吉田と吉田胎内の歴史	1572(元亀3)年に町が成立した上吉田と1892(明治25)年に開基された吉田胎内の歴史を紹介しています。	2022(令和4)年

表4・9 博物館におけるその他の刊行物

刊行物名	概要	出版年
歴史民俗博物館資料叢書第1集	郡内領上吉田村明細帳・白須市左衛門年々日記・橘屋勘右衛門日記	2017(平成29)年
歴史民俗博物館資料叢書第2集	菊田日記①第一番～第六番	2018(平成30)年
歴史民俗博物館資料叢書第3集	菊田日記②第七番～第十四番	2020(令和2)年
歴史民俗博物館資料叢書第4集	菊田日記③第十五番～第十八番	2022(令和4)年
歴史民俗博物館資料叢書第5集	菊田日記④第十九番～第二十四番	2023(令和5)年
歴史民俗博物館資料叢書第6集	菊田日記⑤第二十五番～第二十九番	2024(令和6)年
研究紀要第1集	富士山縁起(菊池邦彦)／富士信仰と「御鉢巡り」―正福寺版「八葉九尊図」を中心に―(奥脇和男)／如来寺の富士山登山案内図について(篠原武)	2015(平成27)年
研究紀要第2集	資料紹介「富士山禅定四十四図」(篠原武)／北口本宮富士浅間神社と御師の家に伝わる奉納額(篠原武)／富士登山道における境界の儀礼―吉田口を中心に―(奥脇和男)／借金証文の中の富士山(菊池邦彦)／お殿様の富士参り(菊池邦彦)／近江国甲賀郡の富士浅間信仰(菊池邦彦)	2019(平成31)年

## (2) 把握調査の状況

文化資源の把握調査の状況を類型別、地区別に整理すると次の表のようになります。

類型		上暮地	大明見	小明見	向原	上吉田	下吉田	松山	新屋	新倉
有形文化財	建造物	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	石造物	○	○	○	○	◎	○	○	○	○
	美術工芸品	絵 画	△	△	△	△	○	○	△	△
		彫 刻	△	△	△	△	○	○	△	△
		工芸品	△	△	△	○	○	△	△	△
		書跡・典籍	△	△	△	△	○	○	△	△
		古文書	◎	◎	◎	○	◎	◎	○	○
		考古資料	△	△	○	△	○	△	△	△
		歴史資料	△	△	△	△	△	○	△	△
	無形文化財	—	—	—	—	—	—	—	—	—
民俗文化財	有形の民俗文化財	△	△	△	△	◎	○	△	△	△
	無形の民俗文化財	○	○	○	○	○	○	○	○	○
記念物	遺跡	△	△	△	△	○	△	△	△	○
	名勝地	○	○	△	○	○	○	△	△	○
	動物、植物、地質鉱物	○	○	○	○	○	○	○	○	○
文化的景観		△	○	△	△	○	○	△	△	△
伝統的建造物群		—	—	—	—	—	—	—	—	—
埋蔵文化財		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	◎
文化財の保存技術		—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	雪代堀	◎	◎	◎	—	◎	◎	—	—	—
	灌漑	◎	◎	—	—	—	—	—	◎	◎

◎：調査済み おおむね調査が完了しているもの

○：一部調査 部分的に調査しているが、全体が把握できていないもの

△：調査不足 調査が不足しているもの

—：該当なし 該当する文化資源が存在しないもの



### （3）把握調査の現状と課題

把握調査について、すべての地区に共通しているのは、古文書、埋蔵文化財包蔵地及びその他の文化資源の調査がおおむね完了している点です。また、上吉田地区は他地域より石造物や有形の民俗文化財の調査がおおむね完了しています。その他の8地区については、特に美術工芸品や有形の民俗文化財における調査が部分的に不足もしくは不足している状況です。

本市の文化資源に関する把握調査のほとんどは、市史編さん事業に伴い実施されたものです。調査からすでに20年以上が経過しているため、宅地造成や公共工事等による開発などにより所在が変更し所在が不明になっている有形文化財もあります。

また、無形の民俗文化財については、把握調査から30年以上が経過し、少子化や過疎化から継承が難しくなっている可能性があるため、改めての現状確認が必要です。

以上のことから、市内にある文化資源を適切に評価するうえでも、現状不足している分野の把握調査と、これまで実施した把握調査の再整理とそれを踏まえた再調査の実施が必要です。また、それと合わせて文化財の管理を効率的に行うために、統一的な台帳に整理する必要があります。

## 第2節 調査の方針と措置

## (1) 調査の方針

- ・美術工芸品や有形の民俗文化財等の未指定文化財の詳細な把握調査及び調査成果を台帳に整理します。
- ・御師住宅や各地区の寺院や神社等の歴史的建造物の詳細な把握調査及び把握調査成果の整理を実施します。
- ・吉田城山の詳細な把握調査及び既存の把握調査成果の整理を実施します。
- ・既存の民俗文化財調査成果を再整理し、更なる現状の把握調査につなげます。

## (2) 調査の措置

方針に基づく具体的な措置は以下の通りです。

No	方針	種別	事業名称	事業概要	取組主体					財源	取組期間					
					市民等	団体等	所有者等	専門家	行政		R7	R8	R9	R10	R11	次期 R12 ～
1	A1	【継続】	未指定文化財の把握調査	美術工芸品や各地区の有形の民俗文化財の調査分野における詳細な把握調査及び調査成果の整理を計画的に行い、台帳への整理を実施します。	○	○	○	◎	◎	市						
2	A2	【継続】	御師住宅や各地区の寺院や神社等の歴史的建造物の把握調査	歴史的に価値の高い建造物を適切に保存するため、建造物の把握調査を計画的に順次行います。			◎	◎	◎	市						
3	A3	【継続】	吉田城山の把握調査	吉田城山の既存の把握調査結果を整理・分析を行い、本質的価値に関するロードマップ作成の検討を図ります。	○	○	○	◎	◎	市	.....					
4	A4	【新規】	市内の民俗文化財調査	30年前に行った民俗文化財の調査結果を整理し、新たな把握調査と保存管理を計画的に行うロードマップを作成します。	○			◎	◎	市	.....					